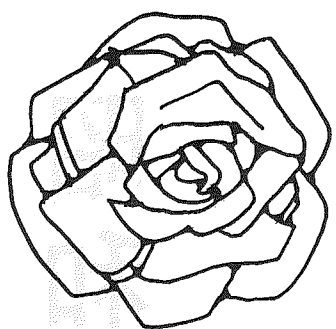
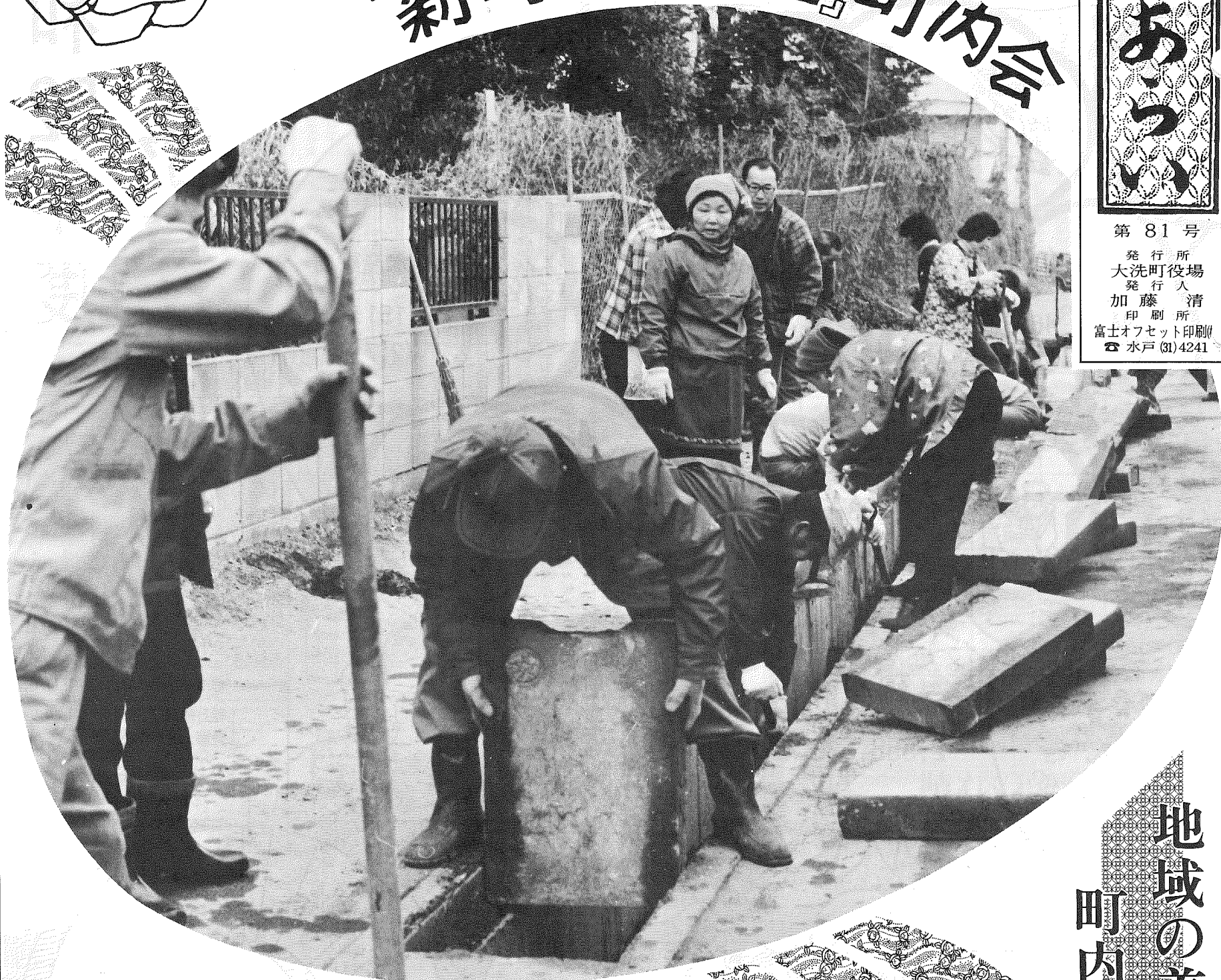




バラ賞に輝く!

『新町3区の2』町内会



お
お
あ
ら
い

第81号

発行所

大洗町役場

発行人

加藤 清

印刷所

富士オフセット印刷

水戸 (31) 4241

地域の美化は私たちの手で 町内あげて清掃活動を実践

明るく住みよい町づくりを目ざして、当町で毎月第3日曜日を「家庭の日」に定めたのが昭和48年、これからご紹介する新町3区の2町内会（戸数40世帯、町内会長村岡雄一さん）ではこれを契機に「家庭の日」を「町内清掃の日」におきかえ、自分たちの住む周辺環境は自分たちの手で浄化しようとの運動に取り組みました。以来3年間、冬は朝の9時から、夏は午前8時に全戸から一人づつが参加して、奉仕活動が続けられてきた

わけです。活動の中心は清掃作業です。先づ町内の区域内をはしる町道をキレイにすることからはじまった作業も、測溝のドブサライ、道路周辺や4ヶ所ある空地の草刈、薬品撒布による蚊や蠅の駆除、更には町内にある県指定遺跡「車塚」の草刈清掃にまで作業範囲の輪が広がっていききました。この輪の広がりにつれて、最初は町内のつき合い程度に考えていた人も、みんなが集まること、みんなで汗を流すことの楽しさが先きにたち、今ではこの日のくるのを待つようにさえなりました。今回、茨城県で善行をたたえる「バラ賞」を制定し、第1回の受賞対象にこの町内のみなさんが選ばれたのも、この実績が高く評価されたためです。町内会長の村岡さんはこの運動を展開して大変良かったこととして、住環境が清潔になり、逆に汚さなくなったことは勿論ですが、何ものにもかえがたいことは、地域に住む人達の連帯感・信頼関係が高められたことを強調されています。この美しい小さな輪がだんだんと大きくのびて、やがては大洗町全域を覆う日がくるのを期待いたします。

県北地方総合事務所管内
昭和51年度地域社会貢献団体等ほう賞式

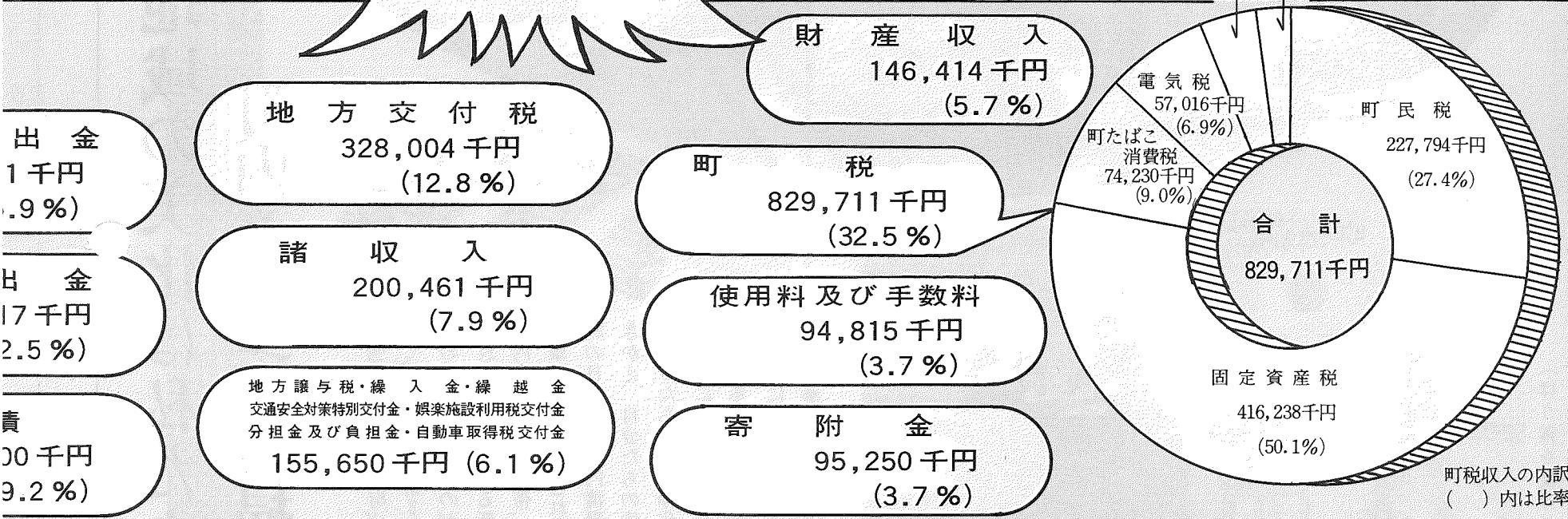
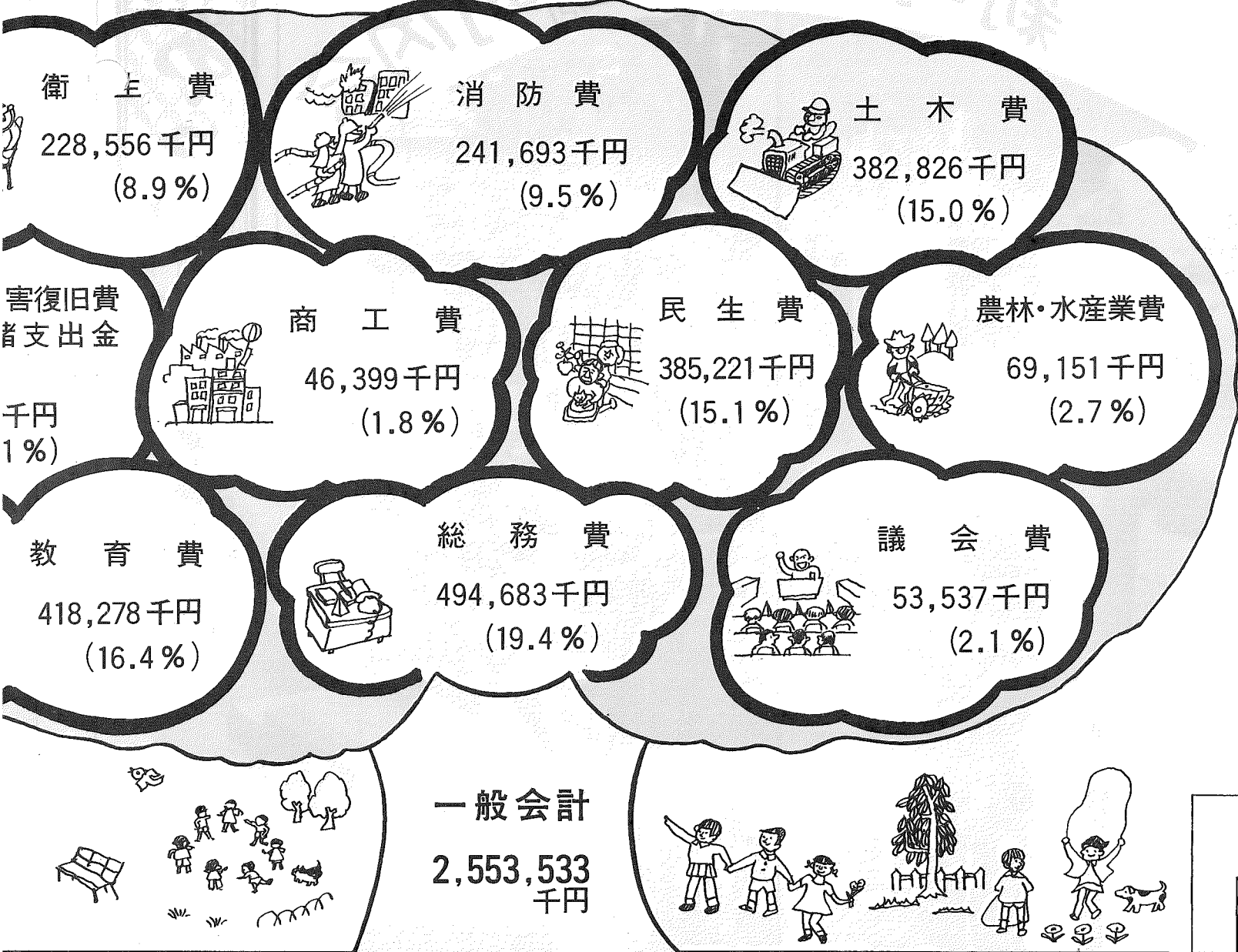


（ほう賞を受ける代表者）

昭和52年度

予算決まる

思をめざして



施政方針

加藤町長説明要旨

昭和52年3月8日、第1回町議会定例会が開会され、同日、加藤町長から昭和52年度施政に関する方針説明が行なわれました。その要旨は次のとおりです。

◆町政の基本的な考え方

人間生きて行く限り、一人一人が健康でその家庭が平和であり、しかも快適な環境の中で、ゆたかな生活を営むことは、誰もが念願する所である。そこで、私は地域づくりの目標を、すべての住民の健康と安全を守り、ゆたかな暮らしを築き、信頼と友愛で結ばれた人間関係をつくって行くことにおいている。この基本的な考え方は従来から一貫して持っており、今後変わることはないと思うが、ただ、その実現の手段となるべき流動的な客観状況に対応するため、速度の問題や選択の問題で変化が生ずる。私達がかつてつくった町の総合計画を、再検討しているのもその現われである。

また、別な言い方をすれば、町政の目標というものには一つの理想像であり、それは亦、現実のものとならなければならない。何故なら政治というものは、一つの大きな実行だからである。私達は持っている目標を、出来るだけ現実化するために、基本構想の段階から基本計画の樹立へ、そして実施計画へ、とこの過程を踏んで行かなければならない。

考えると、地方自治体の財政は常に苦しい現実と追いついて来ている。しかし、そういう苦しいなかでも出来るだけ創意と工夫をこらして、前進を図って行かなければならない。それには、正しい現況の把握と課題の認識が必要となる。

◆健康と安全

一つの目標として健康と安全を掲げているが、現況はどうであろうか。ひと口に健康の管理と言うけれど、これすら充分であるとは言えない。平生の健康を増進する施策も、もっと強化されなければならないし、亦疾病の予防、或いは救急対策も大事である。

そこで昨年、私は町に保健衛生センターをつくり、今年度は常備消防の設立を図り、その任務の一つである救急活動の為に予算を計上した。しかし、このことは同時に、救急医療機関の不足という大きな課題を抱えることになる。たとえ搬送体制が確立されても、それを受入れる医療機関がなければ、効果は上らないわけである。

でも、今年度二次医療機関の増加を図り、来年度、メディカル・ターを充足させる予定であるとき、これからは、私達自治体と地域医療機関がお互いに協力して、安心して生きて行ける体制を、一日も早くつくって行きたいものと、念願している。亦、火災やその他防災の為に体制を確立して、地域の安全を図って行く必

在宅者福祉を重点に

一人暮らし老人、または、身体障害の方に対し日常生活用具給付事業として、腰かけ便座(時価二万二千円)を無料で給付するため、二〇台、二十四万円を計上しました。

また、福祉電話の料金については、本年度から、本人は通話料金のみを負担し、基本料金については町が全額補助することとし、五

ホームサイレンの設置

一人暮らし老人、高齢者夫婦、身障者の方々の生活の安定を守るためホームサイレンを無料でお貸しいたします。これは、万一、火災

段として用いられ停電時でも使用できます。設置ご希望の方は役場厚生課へお申込み下さい。

に対するご協力厚く御礼申し上げます
心暖まる義捐金 **157万9千円**
が寄せられました。

義捐金は歳末助けあい運動の趣旨に従い町内の生活困窮世帯の方々と町出身の福祉施設入所者等にすべて配分をいたしましたので完了の御報告を申し上げます。

前回報告後、義捐金品をいただいた方々には次のとおりであります。

○歳末助けあい運動寄付者（十二月十二日以降敬称略）
▽五千円通り町田中正 一▽一万円寺釜町重美静枝 一▽三万六千円湊声会 一▽三万円祝町金子良 一六千円北清水一区関根忠文 一四万七千二百円大洗町青果市場代表米川友次外賛同店四四店 一同一▽五千三百円髭金町関市郎 一同一▽万円しぶき会会長柴田三男四 一五万五千円寿友会代表小沼昇 一三千元新町小沼昇 一 一▽二千元新町小沼昇 一

浜小学校教職員児童一同 一▽七千円南中学校 一▽八千四百円若者たち上映実行委員会 一▽三千円明神町十二区の一松信莊 一▽一万円住民 一▽一万円大扇会代表久保木春夫 一▽一万三千円新町三区の二村岡さと 一▽三万四千円大洗遊技組合代表本田幸敬 一

大洗町飲食店組合 一
代表 大内勝吉外
寄付金合計 拾五万五千五百円

一万円（九件）
大漁寿し、あけみ、柳屋、寿多庵、寿多庵従業員一同、大進、常陸屋、レストランあさや、緑水園
。五千円（二件）
未仁、クッキングセンター
。三千円（二件）
ばん十屋、キッチンこまつ
。二千五百円（一件）
天松
。二千元（五十件）
サーフサイド、マリナランド、海菜、茨交ビーチパレス、いそや、日や食堂、福太郎、喜泉、あおい、ひさこ、おぬまや、桜道あじやん、寿若、正華、奈三喜、酒井屋、浜屋、仲よし、金藤、浜喜屋、幸楽、さくらい、あけみ、橋、みはまえん、なぎさ、かっぱ、レストラン夏海、レストラン山翠、レストラン錦水亭、ニュー大洗、ささや、山形屋、入船、シャンポール、永田屋、きくの、どさんこ、松信、沖苑、親松、銀泉、おおかわ、アリユーシヤン、東光台たちばな、まりん、若宮、大助、白十字、寿すし
。一千元（二十九件）
加島売店、山水、大森売店、石井食堂、大津屋、諸岡食堂、ひらとや、やえもん、ブロンズ、アイヌ、藤よし、さかえ潮、アンカー、なゆき、和、金米軒、磯、みかど、ニュー春美、おきち、大野屋、里、栗崎屋、みちこ、たみ、たやま、ひめま食堂、おい食堂
△衣料品
明神町小沼吉夫、寺釜町田口栄子、永町小松崎あさ、永町大洗キリスト教会、松川小室庸行、明神町佐藤隆、永町飛田五郎、鈴木（町内名及び名前前の申し出がありませんでしたので御了承下さい）

会員増強運動実施中

大洗町の商工業者をとどめ、今日の情勢は誠に厳しいものがあります。ご承知のように、ローカルスーパーの進出が目白押しに追っている現在、その厳しいさは一段と激しくなってきました。それだけでなくさえ、水戸商圏にしのぎをけずる大型店の争いは、大洗町の購買力をどんどん吸収してしまっているのに、更にその根元さえ食いついてしまいかねないスーパーの進出です。

会員は一致協力して、この流出する消費者をなんとかして、この町で食いゝとめなければなりません。何年か前の水戸の殷盛商売は、大型店の進出で厳しい変化をせまられました。商売の危機を感じた業者の、意識革命が否応なしにはじまりました。

私達商工会は共同して、この難局に立ち向かうため、小さくともよい、各自の能力と研究を積み重ねて、共存共栄の道を発見しなければなりません。

今後の、経済の推移は安定横ばいで借り入れることも会員なら可能です。

歩積みのない、低利の政府融資を受ける工夫こそ、商売の安定と繁栄につながるのです。

役場協の商工会館事務局（六六・一七二）へ、会の申し込みをして下さい。経営指導員と専門職員が、種々の相談に生懸命です。ご参考までに、大洗町商工会の組織運営図をご覧下さい。

尚、会費は月額五百円以上となっております。

```

graph TD
    A[大洗町商工会] --> B[経営改善事業]
    A --> C[一般事業]
    A --> D[商工会員]
    B --> E[物品小売業]
    B --> F[物品卸売業]
    B --> G[製造業]
    B --> H[工業]
    C --> I[建設業]
    C --> J[職能関係]
    C --> K[サービス業]
    C --> L[その他]
    D --> I
    D --> J
    D --> K
    D --> L
    E --- M[金]
    F --- N[記帳代行]
    G --- O[税務経理]
    H --- P[労働営]
    I --- Q[講習会]
    J --- R[その他]
    K --- S[融]
    L --- T[行]
    M --- U[相]
    N --- V[談]
    O --- W[業]
    P --- X[務]
    Q --- Y[金]
    R --- Z[記帳代行]
    S --- AA[税務経理]
    T --- AB[労働営]
    U --- AC[講習会]
    V --- AD[その他]
    W --- AE[建設業]
    X --- AF[職能関係]
    Y --- AG[サービス業]
    Z --- AH[その他]
  
```

税のあり

☆納め過ぎたとき
所得や税額の計算を間違えて、税金を納め過ぎていたり、還付を

たときは、来年の三月十五日までの間に、正しい金額に訂正するための「更正の請求」をすることができます。

と認めたときは、納め過ぎの税金をお返しします。

め、納めるべき税金が少なかったり、還付を受ける税金が多いことがわかったときは、なるべく早く正しい金額に訂正するための「修正申告書」を提出し、その差額の税金を納めてください。

☆申告を忘れていたとき
確定申告をしなくてはならない人が、うっかりして申告書を提出しなかったときは、なるべく早く申告をして、税金を納めてください。

☆用紙などは税務署に
「確定申告書」「修正申告書」及
び「更正の請求書」の用紙は、税
務署に用意してあります。

かりにならないことがあります。ら、最寄りの税務署、税務相談室にお気軽にお問い合わせください。

〇二九二
(31) 四二一

昭和五十一年度募金総額

一七三万六千七百五十九円に達しました

昭和五十一年度共同募金運動につきましては町民各位の御理解と募金奉仕者関係各位の御協力により、一七三万六千七百五拾九円目標額の（一五八・一七％）の募金がよせられました心からお礼申しあげます。

新町一区の一 五千三百円
前田町報（第八〇号）で報告した記事で訂正する協力地区
髭金一区の次に一区二万六百元とあるのを二区一万六百元と訂正し、二区を三区

この募金はすべて県共同募金会へ返金納付いたし、昭和五十一年度の募金を完了いたしましたのでご報告申しあげます。

なお前回の町報（第八〇号）でご報告申しあげた後、次の地区より募金がよせられておりましたのでご報告申しあげます。

三区を四区と訂正いたします。

町名のなかに寿釜町とあるヶ所を寺釜町と訂正し寺釜町四区の次に一区五とあるのを寺釜町五区八千二百五十円と訂正していただきますようお願いいたします。

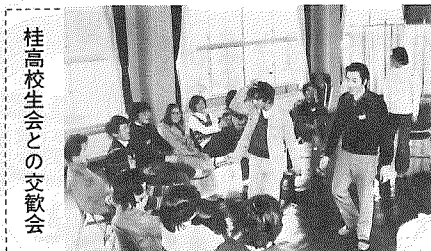
よる共同募金協力地区の報告のなかに誤記がありましたので訂正させていただきます。
昭和五十一年十二月二日報告の後募金を
よせられた地区

= 會員募集 =

在学青少年の社会参加が叫ばれている今日、地域子ども会の良きサフリーダーとして活躍している大洗高校生会会長 長谷香代子では、只今、会員の募集を行なっております。

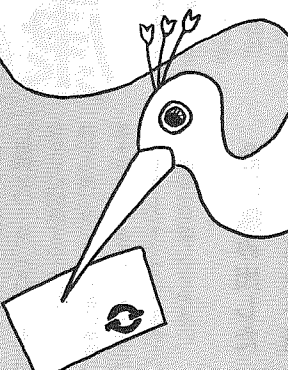
大洗高校生会
は、昭和四十六
年に結成されて
以来、地域子ども
会の指導を中心
に、学生生活の
充実性をめざし
ながら、諸々の
活動を行ない
相互研さんに努
めており、その
功績が認められて、県知事選奨、
茨子連会長表彰等を受賞された事
績のある高校生会です。

会員は、町内に居住する高校生
と、地域子ども会のレクリエーシ



祝電は10日前から受け付けています。

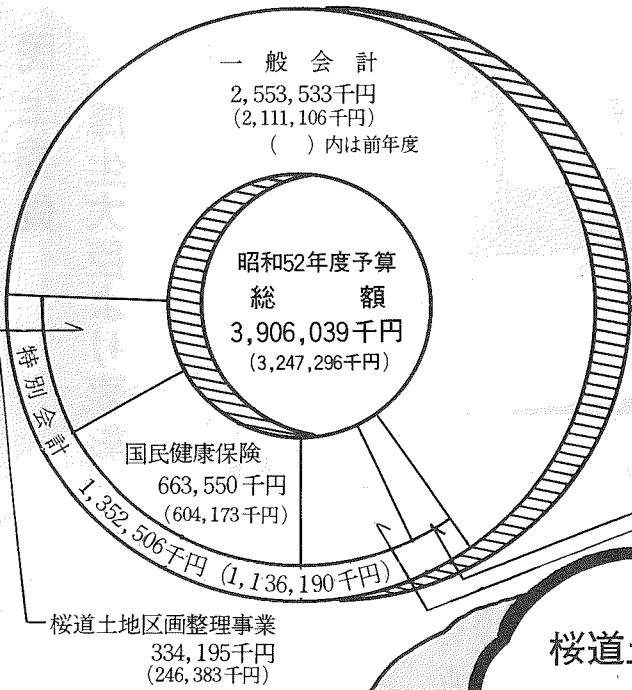
大安日や休日は混みあいますので配達日指定でお早めにお申込みください。
配達日の3日以前にお打ちになりますと、150円割引になります。



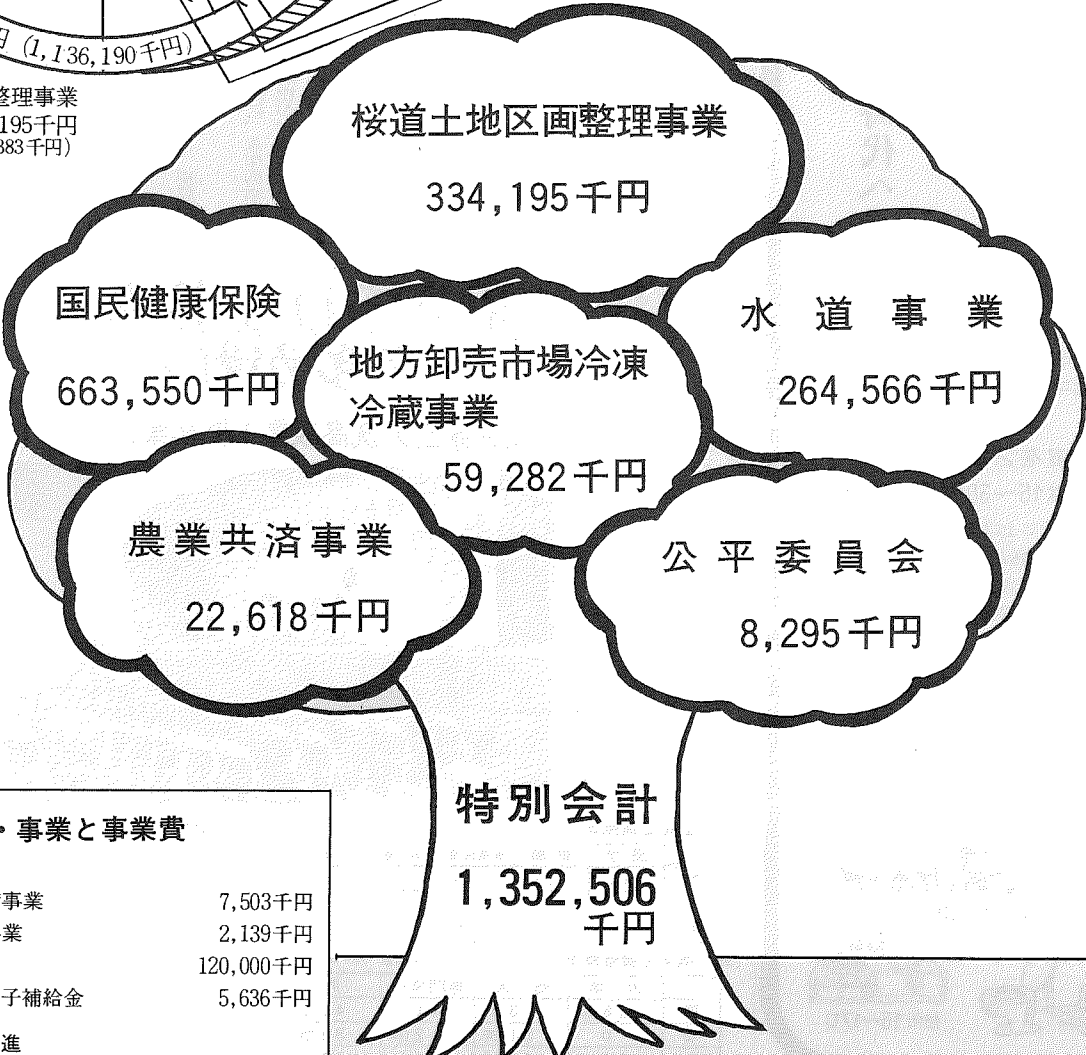
日本電信電話公社

理想

住民の健康と安全
住民の豊かな暮らし
住民の信頼と友愛



地方卸売市場冷凍冷蔵事業	59,282千円 (37,337千円)
農業共済事業	22,618千円 (20,197千円)
公平委員会	8,295千円 (4,745千円)
水道事業	264,566千円 (223,355千円)



労働費・災害復旧
公債費・諸支出
予備費

233,189千円
(9.1%)



教
41%

歳出

歳入

主な・事業と事業費

産業の振興	
○営農環境農道整備事業	7,503千円
○病虫害防除対策事業	2,139千円
○大洗港建設事業	120,000千円
○水産業施設改善利子補給金	5,636千円
生活環境の整備と推進	
○桜道土地区画整理事業	334,195千円
○明神町地区児童公園建設事業	11,100千円
○町道の整備事業	34,363千円
○公営住宅建設事業(24戸)	102,134千円
○町営墓地建設事業	50,000千円
○ごみ・し尿処理事業(清掃運搬車購入)	14,993千円
○交通安全施設整備事業	6,945千円
○消防防災諸事業	144,949千円
社会福祉と教育の充実	
○公衆衛生諸事業	6,747千円
○福祉と医療の諸事業	148,708千円
○一中運動場整備事業	14,660千円
○南中防音改造事業	54,044千円
○夏海小屋内運動場建設事業	66,160千円
○祝町小屋内運動場建設事業	66,160千円
○祝町小温度保持工事	12,042千円

○桜道土地区画整理事業	334,195千円	○国民健康保険特別会計	663,550千円
国庫支出金	50,000千円	国民健康保険税	240,519千円
財産収入	102,174千円	国庫支出金	377,054千円
繰越金	150,620千円	その他	45,977千円
その他	31,401千円		
○水道事業	264,566千円	○地方卸売市場冷凍冷蔵事業	59,282千円
収益的収入	213,874千円	営業収益	57,572千円
資本的収入	15,098千円	営業外収益	1,710千円
内部留保資金	35,594千円		
○農業共済事業	22,618千円	○公平委員会	8,295千円
農作物共済勘定歳入	11,621千円	分担金及び負担金	4,740千円
家畜共済勘定歳入	1,775千円	繰入金	3,005千円
業務勘定歳入	9,222千円	その他	550千円

国庫支出：
406,011千円
(15.9%)

県支出金
62,517千円
(2.5%)

町債
234,700千円
(9.2%)

◆信頼と友愛

信頼と友愛をつくる基礎とも言うべき教育の問題については、子供達の為に本年度、夏海と祝町の各小学校に体育館をつくる予定であり、多年懸案となっていた一中グラウンドについては、和銅地区区画整理組合の事業の一つとして実現する見込みがつき、この予算を計上した。亦、現在課題となっている、町民グラウンドや中央公民館の建設については、今後その実現に努力する積りである。

尚、国保・水道・ゴミ・し尿処理等の、日常生活上欠くことのない施策については、現在、順調に運営されていると思うが、今後とも出来るだけ細心の注意を払い、町民の皆さんに不便のないよう配慮して行く積りである。これらの料金については、昨年度予算においてきたが、本年度は人件費、資材費等の値上りもあり、適正な値上げをするの止むなきに至った。何卒、御理解をお願いしたい。

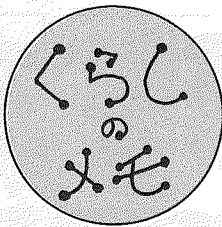
◆豊かな暮らし

ゆたかな暮らしをつくるための、生活基盤の現況はどうか、そこにも亦多くの課題が横たわっている。即ち農業や漁業、商業や観光等夫々の領域において振光対策を図っているが、農業面では、資材価格値上りや農産物価格の不安定に悩み、漁業面では、石油価格の値上りと二百万リリ海域制限が国際的な規模で現実となり、非常に大きな影響を受けている。亦、商業面では不況の底流に加え、最近町へ大型スーパーの進出が具体化しつつあり、その対策が急務となって来ている。

私達はこういう現実の上に立って、何とかこれを取り切っていく必要はない。即ち、農業面では農産物価格保障制度確立への初めての試み、漁業面では漁港整備の為に防砂掘り算、商業面では自治金融資金の拡大、観光面では夏季海水浴場整備の為に排水浄化施設の予算、等これはその対策の一つである。亦、環境づくりでは本年度も町道、農道の排水整備と、舗装の予算を計上した。亦、住宅も24戸分を新設する考えであり、特に、町土地開発公社の手によって進められている小松原の住宅団地も、本年度は造成が完成する予定であるから、町民に分譲出来ると思っている。

なお、地域発展の基盤となる鹿島鉄道は、過日松川地区の買収が地権者のみなさんの御協力によって決定し、今後、夏海宿並ならびに大貫へと進み、本年中に工事着手の見えおしであり、桜道の区画整理は本年度大巾な前進を図り、一日も早く完成するよう努力する考えである。

私たちをとりまく、現下の経済環境は非常に深刻であり、政府もその対策には懸命であるが、例えば、雇用面での回復の遅れ、高水準企業の倒産、安定化しつつあるとはいえず、上昇率のお高い物価等、なかなか思うにまかせない状況である。このような背景の中で、地方財政もまた、財源難と借金財政の重苦にあえぎ、自治体の財政運営もますます緊迫の度を加えている。しかし、当町においては新年度常設消防の発足にあたり、原子力機関より一八五、〇〇〇千円の協力が得られたほか、ゴルフ場から九〇、〇〇〇千円の寄附金等もあり、これらを主として、事業にあてて一般財源の性格として充当し得たことは、幸いであった。反面、今後益々高まる行政需要に代えて、明日の町民生活を守り抜くため、出来る限りの経費削減策を講じ、財源客体の捻出に積極的に取り組むながら、新しい町づくりの推進のため、健全財政の堅持に力を注いで行きたい。



ムダをなくして 豊かな暮らしを — 暮らしの見直し —

くふうアレコレ

フロの節約, 5つのポイント

- 1 水は必要量だけ、夏は午前中、冬は直前に汲む。
- 2 家族そろってはいれる時間に沸かす。
- 3 沸き上がり時間を調べておく。(季節、気温によって変わる)
- 4 中ぶたはトフ。
- 5 追いだきしたら、つぎつぎに入浴を。



買いもの6つの反省

1. 過食は食糧資源をへらすだけ。
2. タンスのこやしは虚米心をみただけ。
3. 隣りのマネして買う家財は部屋を狭くするだけ。
4. 過密シヤは環境をこわすだけ。
5. 車庫もないのに車を買うのは交通の妨害。
6. 見せかけだけの包装はゴミをふやすだけ。

地球上の資源やエネルギーには限りがあります。わが国は資源やエネルギーのほとんどは海外から輸入しています。海外の情勢が変わると私たちの生活に大きな影響をもたらします。資源の少ないわが国では限られたものを有効に使うことが必要です。

本当に生活を豊かにするためには資源やエネルギーのムダをなくし、ものを大切に、ものを生かす生活に切りかえる必要があるのです。

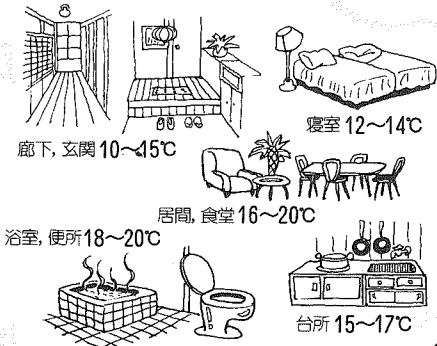
電燈はこまめに消そう

たとえば、一般家庭の環境けい光燈60ワットなら、30分間中座するたびに消すと、1回約30ワット時・約36銭の節約。日に5回で1円80銭、1年間で650円、けい光燈1本分のトクになります。

暖房温度を2℃下げると 燃料費は15~30%安くなる

冷房の場合も2℃上げることによって同じ結果になります。必要以上に暖めたり冷やしたりするのは、長い間に大きなロスとなります。温度計をそなえて「暖房慣れ」や「冷房慣れ」を防ぎましょう。

●家庭の最適室内温度



町営冷蔵庫 増設される!

既設冷蔵庫は地元水産関係者の絶大な御協力により、昭和四十五年間に建設されました。凍結日産一〇トン、保管庫五〇〇トンの能力をもつ施設で魚市場附施設として水産業の振興を確立するための一翼を担ってきました。しかし増大する寄託申込にに応じきれず、このたび沿岸漁業構造改善事業により、一〇〇〇トン冷蔵庫の増設となったのです。

海洋法による専管水域二〇〇カイリ・領海十二カイリの問題等々が水産業に及ぼす影響は大きく、石油ショック以来国でもこれらに対応する事業等を国会で審議しておりますが、とくに流通機構の改善、沿岸漁業の見直し、未開発漁場の開発等いろいろの政策が盛り込まれています。

このような現況下で生産者と地元買付体制の整備拡充と水産加工業との有機的関連の強化を図り水産業の総合的振興が図られたいに貢献するものと期待しております。

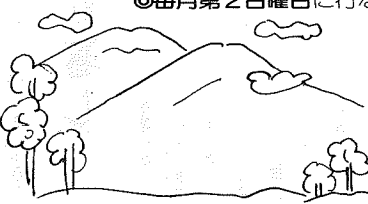
規模は鉄筋コンクリート一部鉄骨造りで冷蔵庫一、〇〇〇トン、機械室、荷捌所で総面積六二、六五平方メートル、建設費七、四〇六万円で完成予定は昭和五十三年三月末日となっています。

「大洗町歩こう会」実施予定表

主 催：大洗町歩こう会・大 洗 町・大洗町教育委員会
お問い合わせは 大洗町教育委員会事務局へ (TEL 7-5111)

昭和52年度の歩こう会を右記のとおり予定しておりますのでふるって参加されますようお知らせいたします。

- ◎毎月第2日曜日に行ないますが、当日雨天の時は中止になります。
- ◎集合場所は毎回役場前です。
- ◎出発時刻15分前にお集り下さい。
- ◎参加費は無料です。



若返りに!! 健康増進に!!
体力づくりに!!
足・腰をきたえよう
家族そろって参加しましょう。

回数	月 日	出発時刻	行 先 (方 面)	距離(約)	備 考
31	4月10日	午前8時30分	祝町・願入寺	7KM	
32	5月8日	"	旭村・フィールドアスレチックセンター (海岸病院前・夏海宿通り)	16KM	弁当持参
33	6月12日	午前7時30分	東光台・掘割・大貫	7KM	
34	7月10日	午前7時00分	大洗港・神社・東光台	5KM	
35	8月14日	"	大貫海岸	5KM	
36	9月11日	午前7時30分	三橋めぐり	11KM	
37	10月9日	午前8時30分	大貫小学校・花池・磯浜	6KM	
38	11月13日	"	海門橋・湊公園・反射炉	9KM	
39	12月11日	"	青年研修所・釜口山・大洗高校・権現坂上・海岸	7KM	
40	1月8日	"	大貫・島田・平戸橋	8KM	
41	2月12日	"	大洗海岸・子供の国・天姫山・祝町	7KM	
42	3月12日	"	平 磯	12KM	

民生委員 厚生大臣より表彰

永井なかせん(七四歳)大洗町磯浜一四〇三番地。昭和二十一年より引続き三十年間勤続されました。

上記お二人の方は、永年にわたる民生委員、児童委員として社会福祉の増進に寄与された功績によってこのたび厚生大臣より表彰されました。

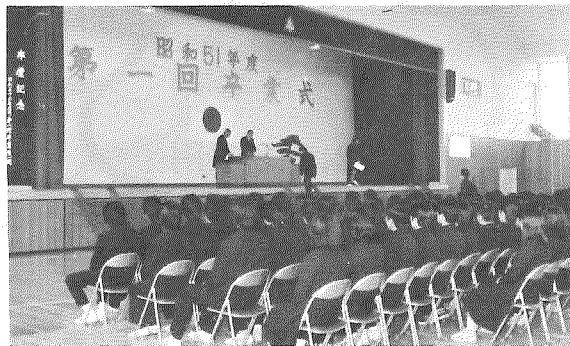
大洗町には、三十六名の民生委員が地域の福祉向上のため活躍しており、一同心からお喜びを申し上げます。



(写真 左・永井さん 右・関さん)

巣立ち行く若人に 幸多かれと

地元県立大洗高校第1回卒業式を挙



(一) 進路志望概況

	進 学	就 職	家業継業	在 家	計
男	42	26	5	0	73
女	33	60	0	4	97
計	75	86	5	4	170

(三) 進学志望者概況 () 内は合格者数 残りは出願中

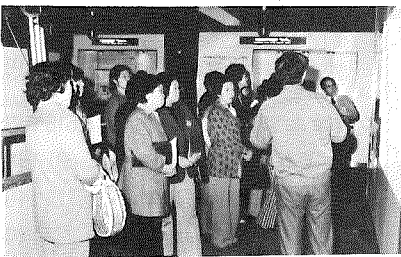
	大 学	短 大	専門学校	計
男	28 (12)	3 (1)	11 (7)	42 (20)
女	0	21 (20)	12 (8)	33 (28)
計	28 (12)	24 (21)	23 (15)	75 (48)

(二) 就職志望者内定状況及び内定先の地域別数

	内 定	出願中	計	内 定 者	
				県 内	県 外
男	24	2	26	16	8
女	54	6	60	37	17
計	78	8	86	53	25

(昭和52年2月28日現在)

一中のおかあさんたちが 原子力施設を 見学!



春まだ浅い去る2月22日、町立第一中学校の家庭教育学級(学級長・川上八重子さん)約35名が見学のため、動力炉・核燃料開発事業団大洗工学センターを訪れました。

この家庭教育学級は、毎月一回程度の予定で学級会を開き、「家庭生活を楽しむためのレクリエーション」や「これからの家庭教育」などについて勉強をしています。この見学会もそのうちのひとつとして行なわれたものです。

動機に若い学級生たちは、春まだ浅い去る2月22日、町立第一中学校の家庭教育学級(学級長・川上八重子さん)約35名が見学のため、動力炉・核燃料開発事業団大洗工学センターを訪れました。

世間で大きな話題になっているエネルギー問題、それを解決するために大きな役割をもつ原子力問題等、これらの内容や安全性などについての話を聞いたり、PR館に置かれてある実物の模型で作られた高速増殖炉「常陽」の模型やパネルで説明を受けたり、一生懸命勉強していました。

終了後、おかあさん方は声を揃えて、「町内にこんな大きな原子力施設があることを直接、実感として知ることができ大変勉強になりました。」「動機と原研との違いなども知りました。」と、見学に参加された感想を話していました。